

会場一杯に六文銭

新しい絆しつかり

第17回 関東支部大会開く

上田高校同窓会関東支部の第17回大会が、さる六月二十三日午後五時より、東京の農林年金会館で盛大に開かれた。

母校に女子学生が増えていることとを反映してか、今次大会には、この四月には母校を卒業したばかりの女子同窓生が多数参加、並みの「オールボーイ」の人気を一身に集めていた。

第一部の定期総会は、定刻の六時から柳沢幹事長の司会が始まった。議事に入る前に新役員が紹介され、矢島五郎支部長が、新役員を代表して抱負を述べた。

また、上田からかけつけられた竹内本部長、新津現校長を、はじめとする来賓各氏も壇上に整列して紹介され、大きな拍手を浴びた。続いて支部発展に努めた

「大先輩」諸氏に感謝状と記念品が贈呈された。

議事は、会務報告(柳沢幹事長)、決算報告(牧内操会計幹事)、監事報告(尾島長市監事)の順に進められ、いずれも力強い承認された。続いて、OB

会、同期会、同好会などの各部会を二層充実発展させること、及び会報の第20号を記念特号とする

ことを骨子とした新年度事業計画案が柳沢幹事長から提案され、これも全員の拍手で承認された。

第二部は、慶々大広間に移しての懇親会。

年代別に設けられた内陣の周囲に輪ができるのを見はからって、世良田雄先輩(第八回卒業)が乾杯の音頭。



六文銭と校歌うずまく会場風景—第2部懇親会より

在校生諸君へ

支部長 (31) 矢島 五郎

よびかけ
母校に学ぶ在校生諸君、遠く都路の秋の夜半、今私は若き日の学び舎であった母校を懐びつつ、

心から在校生の諸君へをこたう。関東支部の同窓会も昭和三十三年に発足して二十年、会報「うさだ」が創刊されて十年(春秋二回発行)を経た。

意義ある会報第二十号の記念号に、在校生諸君へのよびかけも編集委員会が企画された。

諸君の中には卒業し関東地区に進出される人々や、他地区へ向う人々もあろう。しかし他地区への諸君もいつか長い人生航路のうちには、関東に住う人となり得ることもある。その関東には上田高校同窓会関東支部なるものがあることを記憶に留めておいていただきたい。関東支部の結果は大きく各分野に君たちの先輩方が活躍している。こうした先輩たちを知ること、そして先輩たちを知ることは男女共に君たちの人生に大きなプラスとなる何かがある。

今、関東地区在住の私たちは、若くして母校を巣立つ君たちに、この関東支部を益々盛り立て、その伝統を保持してゆかれんことを併せて祈っている次第である。同窓会とは何んだ

だ。だが一言にもなるという御折柄により、二十一人が心をよく引き受けてくれました。

三十三期から六期までです。方々が、そして二十二年は三十三期、二十三期は四十六期の方々が引き受けて下さることになっています。その期でお引き受け頂きます。広告の原稿を集めていただきます。

二回広告を引き受けて頂ければ、十五年間は広告の面では心配がなくなります。三十三期の期が現われますようお願ひ申し上げます。その期でお引き受け頂きます。広告の原稿を集めていただきます。

神林徳治(上田千曲高校同窓会)、藤原育男(白田高校同窓会)、依田八治(北佐久農産高校同窓会)、吉岡敏郎(野沢北高校同窓会)、小沢肇(伊那北高校同窓会)以上各氏。

△支部発展に寄与した人々▽
吉井道教(20)、島田次郎(21)、柳沢正春(22)大森雅雄(23)、馬場長市(25)酒井論一(26)、坂井実雄(28)尾台三吉(30)。(数字は卒業年度、敬称略)

△新津現校長▽お招きに感謝する。在校生も伝統をけがさぬよう、勉学にスポーツに、上田スポーツを發揮している。ともに本年は、野球は甲子園をめざしているし、サッカーは県大会で優勝し、ハンドボール、陸上は上田

現在関東支部は第四回卒業生の大先輩を始めとして、住所不明者の会員は三千二百有余名、支部の確立と発展の途程、永年にならぬ多数の諸先輩方の御努力によって、ようやく地に根づいた感である。

各期毎の同期会はそれぞれ盛んであり、更には、先輩後輩の団結によって、各運動部のOB会、出身地区の同窓会、同一職務にある者同士の会合等々も盛んに開かれ、開きあっている。

それらも関東支部の確立と発展となってきた各会である。

ふさふさの鳥帽子、大塚の山菜をひんじゅうを招きおそれなからと要するが、誠心誠意、君たちに関東支部の現況をお伝えしつつ、今後の交流を願った次第である。

附言するが第七期以降の同期会や各期代表幹事も数多い。若い諸君の裏切った御協力を切願ひ申し上げ、結びとしたい。

結びに
一気には書き過ぎ、また少々説教じみた文意になり、在校生諸君のひんじゅうを招きおそれなからと要するが、誠心誠意、君たちに関東支部の現況をお伝えしつつ、今後の交流を願った次第である。

附言するが第七期以降の同期会や各期代表幹事も数多い。若い諸君の裏切った御協力を切願ひ申し上げ、結びとしたい。

命が保障されたことになり、一年は要しますので、それだけの期で御相談下さいませ、早目に何号を受けもつかきめて頂いて御申し込み下さいませようお願ひ申し上げます。卒業期十年、二十年、三十年、四十年、五十年というようにそれを記念にお出し頂くのもいいんじゃないかと思ひます。

金のある奴は金を出せ
知るある奴は知恵を出せ
時間のある奴は時間を出せ
何も出せない奴は早く死ぬ
我が上田高校同窓会のモットー
ウタが聞かれました。

だ。だが一言にもなるという御折柄により、二十一人が心をよく引き受けてくれました。

広告部からのお願ひ

支部長 (36) 伊藤東四次郎

二回広告を引き受けて頂ければ、十五年間は広告の面では心配がなくなります。三十三期の期が現われますようお願ひ申し上げます。その期でお引き受け頂きます。広告の原稿を集めていただきます。

神林徳治(上田千曲高校同窓会)、藤原育男(白田高校同窓会)、依田八治(北佐久農産高校同窓会)、吉岡敏郎(野沢北高校同窓会)、小沢肇(伊那北高校同窓会)以上各氏。

△支部発展に寄与した人々▽
吉井道教(20)、島田次郎(21)、柳沢正春(22)大森雅雄(23)、馬場長市(25)酒井論一(26)、坂井実雄(28)尾台三吉(30)。(数字は卒業年度、敬称略)

△新津現校長▽お招きに感謝する。在校生も伝統をけがさぬよう、勉学にスポーツに、上田スポーツを發揮している。ともに本年は、野球は甲子園をめざしているし、サッカーは県大会で優勝し、ハンドボール、陸上は上田

現在関東支部は第四回卒業生の大先輩を始めとして、住所不明者の会員は三千二百有余名、支部の確立と発展の途程、永年にならぬ多数の諸先輩方の御努力によって、ようやく地に根づいた感である。

各期毎の同期会はそれぞれ盛んであり、更には、先輩後輩の団結によって、各運動部のOB会、出身地区の同窓会、同一職務にある者同士の会合等々も盛んに開かれ、開きあっている。

日本の伝統文化を守る

神野文芸学園

学園長 神野勝男 (36期)

船橋市前原西 2-32-15
電話 0474-74-0543

小さな店です
店の小さい事は恥しいとは思いません
誠実、思いやりの少ない事は恥かしい事だと思ひます
酒類・煙草・食料品・調味品
銘柄も品数も少いかも知れませんが
あたたかい人間味が溢れさせたいのです
ビールは一つの銘柄
アサヒビールに情熱のすべてを傾けたのです
大変な事ですが、大変な事だからやりたかったので
思う事はたやすい事です
行う事は難しい事です
はげまし、叱り、そして後押しをいただきます
〒160 東京都新宿区四谷二-1の九
山吹みそ 専売店 田中ビル
株式会社 信州屋
TEL 三五七五〇二五
三五七五〇三五
三十三期 伊藤東四次郎

会報「うえだ」20号の発行を祝う

兼萬工業株式会社

春日 敦夫 (46期)

本社 埼玉県上尾市西宮下三〇
TEL〇四七(七)二二七〇

大日野工業株式会社

代表取締役 神林 常規 (46期)

本社 埼玉県板橋区宮本町三九番三号
電話(九六八)三四二番代

ウスダ食品株式会社

代表取締役 白田 稔 (51期)

本社 東京都北区赤羽南二丁目二十四番十六号
TEL 電話(九〇二)七六五三番代

東和公認会計士共同事務所

公認会計士 高木 快雄 (53期)

事務所 10東京都千代田区内神田三丁目九番八号
神楽七五階
電話(二五〇)四一七三(代表)

小林郷司事務所

公認会計士 小林 郷司 (40期)

千代田区神田鍛冶町三三(共同ビル)
二五二一八八〇一

和田製本工業株式会社

練馬事業部

事業部次長 田原 敬 (48期)

練馬事業部 東京都練馬区北三丁目三番十九号
電話(三九三)七二一(代)九番

株式会社 エバロン

代表取締役 馬場 武彦 (54期)

港区西麻布四丁目一七七一〇号
四〇七一五〇〇七

国際電飾工芸社

代表 中村 礼三 (32期)

杉並区成田西二丁目三十二
三九八一六〇四五

多忙のためすっかり、御無沙汰し、皆さんから叱られています、お許し下さい。四月にまた戻ってきました。

小木曾 誠 (48期)

千葉県幕張町一丁目七六一一三
TEL〇四七(七)七三六八〇

江戸伝承浮世絵手摺本版画 販売
近代・現代版画・美術書刊行

村田 寛 (51期)

株式会社 遺珠刊行会
〒100 東京都千代田区神田小川町二丁目一〇
TEL 電話(五九四)八六四一(番代)

若葉精密工業株式会社

取締役社長 土屋 學 (31期)

〒100 東京都目黒区八雲二丁目八番五号
電話(七三三)一七二七(代表)

東京都文京区立千駄木小学校長

北村 季夫 (36期)

勤務先 東京都文京区千駄木五丁目四番一
TEL 電話(三三八二)七六八八(九番)

社団法人 世界経済研究協会

専務理事 菲澤 嘉雄 (36期)

〒106 東京都港区虎ノ門二丁目六番七号
TEL 電話(五〇二)一三二一(番)

一級建築士事務所
柏葉設計所

主 宰 石倉 謙一 (36期)

〒107 練馬区石見台二丁目二番一
九九九一二四〇一

日本経済新聞大阪本社

社務課長 武捨 久男 (37期)

住所 〒100 東京都千代田区丸の内二丁目二番八
留守TEL 千代田区中村南二十五丁目九

毎日新聞名譽職員

清水 幾男 (36期)

横浜市磯子区森丘一丁目一〇一三
TEL 電話(四五一八)二七三(四)

大平台 カントリークラブ

中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル
TEL 03-274-1007

保刈 徳彦 (41期)

大曾根歯科医院

横浜市港北区大曾根 649
TEL 045-541-2462

院長 保刈 越子

自宅 横浜市港北区太尾町195-7
TEL 045-543-3803

祝「うえだ」20号発刊 在京はたち会

(大正10年卒業20回)

美ヶ原の嶺、 依田川の清流

在京啓明会

(依田窪出身者の集い)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 会長 土屋 学 (上中31期) | 副会長 野間 朋子 (上高女28期) |
| 幹事長 小林 郷司 (40期) | 幹事 小山 福子 (45期) |
| 幹事 浅野 敏正 (42期) | 幹事 早川 信子 (染谷丘高3) |
| 幹事 三浦 嘉春 (上高47期) | 幹事 神津 紀子 (2期) |
| 幹事 伊沢多喜男 (54期) | 幹事 赤羽 豊子 (3期) |

年1、2回例会を開いています。参加を歓迎いたします。
(連絡先) 千代田区神田鍛冶町3-3 共同ビル小林郷司事務所 (252) 8801

T.K.C 京都計算センター

堀内 税務事務所

税理士 堀内 茂雄 (44回)
半田 嘉道 (55回)

東京都墨田区業平4-9-3
TEL (625) 2291 (代表)
(出身地小栗郡真田町)

公認会計士 小林 郷司 事務所

公認会計士 小林 郷司 (40期) (丸の内上九子出身)

事務所 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 共同ビル (新千代田)
電話 (252) 8801~4番
自宅 東京都練馬区関町4-甲748-9
電話 (920) 6736、6748番

堀硝子株式会社

東京都中央区蠣殻町1-32-7
TEL 668-0751

常務取締役 皆藤 義久 (36期)

複写・マイクロ写真・トレース・印刷・測量・設計

セーユウ興業株式会社

東京都港区虎ノ門3-14-8 TEL 436-2941代表

代表取締役社長 荻原 信好 (36期)

